

秋穂町弘報

発行所 秋穂町 印刷所 秋穂町

議會だより

去る八月十一日臨時議會在招集され八月二十三日大の議案が可決された

- 議事録 議長 中村小次郎 副議長 藤田正吉 監事 藤田正吉

農漁村新生對策の

實施計畫について(1)

本町に於ける總戸数は二千八百八十一戸... (甲)開墾 (乙)土地の交換 (丙)土地改良事業 (丁)造林計畫

吉佐養老院(假稱)落成 年考いてよる身なき氣の毒な老人の憩いの場所として秋穂町中道海岸に於て新築中でありました

商業センサスについて この調査は我國に於ける商業者数を正確に把握し商業者の分布を明らかにする

夏期防犯強化について 吉敷南地区署秋穂派出所より夏季防犯強化期間が實施されております

警察予備隊は我國の平和と秩序を維持し公共の福祉を保障する

の下に成立した政府を暴
力で破壊することを主張
する政黨その他の団体も
結成し、またはそれに加

公民館からのお知らせ

一般公開講座に就いて

前様御承知の様に公民館では町
婦人會と協力して左記の通り母
親學級夏季講座を開催致しまし
た紙上を借りて其の内容と結果
を今一度皆様にお知らせする事
に致します。

期日(大海)三、二、五日
の三日間

会場(大海)三、二、五日
の四日間
大海小学校
秋穂中学校

内容(講義科目)
性善と好悪及受胎調節
妊娠中の衛生
妊娠中の衛生
赤ちゃんと衣類
分娩と産褥期
乳幼児の栄養
乳幼児の病氣早期発見
醫師來意迄の應急手當
幼児の養育
乳児の入浴
参加者

秋穂、大海會場を通じて延
人員三八六名其の中修了証
書交付者、四三名、お暑
い中を良く御出席頂きました事
とこれに對しお忙し中をお差
掛御指導頂きました講師の方及
婦人會役員の方々に厚く御禮申
し上げます。

尚九月を迎え讀書會の好季節
になりますので、公民館では左
記の通り職業、文學其の他實生
活に即した一般公開講座を計畫
し具体的打合せを終了次第これ
の生徒を募集する事にして居り
ます。

3、前回迄に應募して不採
用となつた者も應募でき
るものとす

めに何を成す可きかを見極めな
ければなりません。要するに教
養を高める事が先決です。お
互に勉強致しまして、公民館
の此の企に多數の御協力と御参
加を頂く事によつてそこに始め
て吾々の希望する郷土が生れて
くると思ひます。それは取りも
直さず自分の爲です。

皆さん暇を作り出して御参加下
さる事を希望致します。

一、社會學級
二、教育方針

實生活に直結した具体的問題
を通じて、民主的社會人とし
ての一般的教養に資すると共
に専門的知識技能を修得する
事によつて明るく住みよい郷
土社會の建設を企圖する。

1、運営委員を組織し之に公
民館教養部並に山口農高校
秋穂分校が之に當る
2、委員會は月一回開催して
全体企画、立案調節執行に
當る
3、職業教育を活用しレタ
リエーションを適當に取入
れて健康な學校にする
4、學校は本館でもつが大海
内規として運営委員會のも
ちかたを別に決める。

科目
不定時
回数
晝夜別

職業関係	希望又は情況により特別講座 を設けたことあり
1、農業	不定時 年一回 晝又
2、水産	定時 週一回 晝
3、家庭	定時 週一回 晝
4、裁縫	不定時 年十二回 晝又
5、調理	不定時 年十二回 晝又
6、書字	定時 週一回 晝
7、圖書	定時 週一回 晝
8、社會	不定時 週一回 晝又
9、文學	不定時 週一回 晝又
10、他	不定期 週一回 晝又

通りやんせ公開録音

ラヂオでお馴染のクイズショウ
通りやんせの公開録音並にアト
ラクションとして歌謡曲アソ
ブション演奏を来る六日(土)
午後七時より秋穂小学校に於
て防衛放送局主催公民館後援の
通りにやんせの公開録音を
實施することになり次の要領で
問題及び解答者を募集してあり
ます。多數應募下さい

一、演出時間 總計一時間半
二、問題及解答者 三問一組を一枚の紙
に記入すること
三、期間、券問をおよせ下さい
四、入場無料

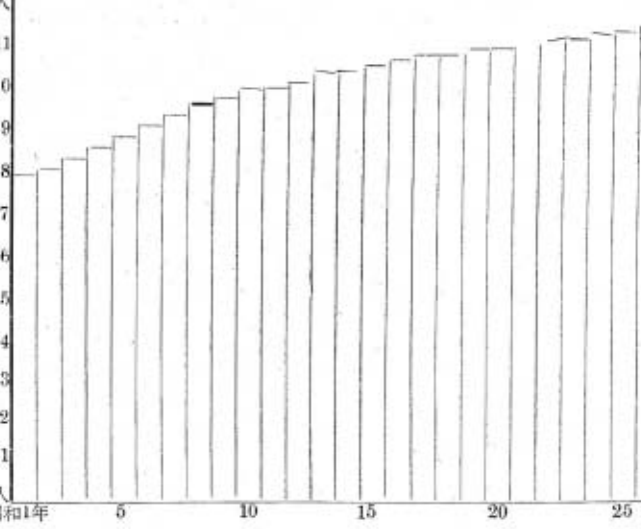
多數應募乞う

解答者(學生は除く)
應募者多數の場合は選衡の
上決定本人に通知します
一、イネスカノの答で次の賞
金が取れる、三〇〇〇圓
二、一つ、一〇〇〇圓
三、申込先秋穂町役場庶務係
一、又、九月三日
一、又、九月三日
期限が切迫してありますので
遅れない様にお願ひします

よろこびとかなしみ

六月中の戸籍係
出生の部
出生者 生児部 部落名
父 出 生 籍 係
北村隆平 二男 芳智 小田濱
福水三夫 二男 芳智 小田濱
武田助一 二男 巧 小田濱
原田敏三 長男 正美 東天田
松本敏三 長女 佐津 下村
河野家三 三男 信子 中
八木康男 二女 信子 中
藤松芳雄 三女 信子 中
開地文子 二女 文子 中
上田定雄 二女 秀章 先青江
北野定郎 二男 長男 花内香
安藤定郎 二男 長男 北河内
田中保政 長男 長男 濱内

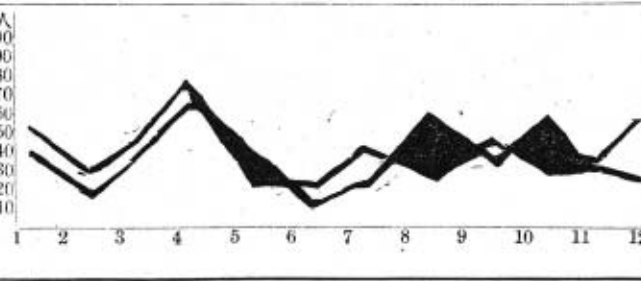
出生の部	婚姻の部	死亡の部
村本友吉 長男 和男 田中要三 二女 康子 川村傳市 三男 昭彦 福村徳一 二男 辰男 原田武雄 長男 和雄 久保充男 長女 芳江 山本末久 二女 久美 山本末久 二女 久美	松尾正和 妻 稲山保子 大塚邦雄 妻 古川美代子 宮野邦雄 妻 山田千代子 山手辰三 妻 井上美津子 横手登 妻 井上美津子 村田敏夫 妻 井上美津子 原田敏夫 妻 井上美津子 福田敏夫 妻 井上美津子 平田敏夫 妻 井上美津子	河本健一 死亡 林の部 松村トキ 五十九歳 屋戸 長岡和吉 七十三 小野茂吉 六十一 小林榮助 七十四 世良博昭 七十七 下中茂 井南 東本町 村條中



この月の統計

秋穂町の人口増加

我が國の人口は年々増加の一途
を辿つており昭和二十二年の臨
時調査では七千八百二十万人
二十三年の常任人口調査では八
千二百二十万人の増加を認め
ては八千三百二十万人に達し公
衆衛生の向上に基く死亡率の低
下と相俟つて、今後益々増加の
傾向にあり之を抑制するため産
児制限の普及等、人口過剰問題
は眞刻に討議されたが、本町と
つては人口は年々増加の途を辿
つており日華事變前後から一生
め増殖せよ」が國策に取り上げ



秋穂町の人口を育むもの

秋穂町の人口は年々増加してい
るが、これを圖象化して見ると
別表の通りであり、更にこれを
月別に僅か三ヶ月のみで減少し
た月には僅か三ヶ月のみで減少し
季節的に見れば秋に減少し冬か
ら夏にかけて特に冬の増加が著
し又五月八月の季節の境目が著
減少している、これを懸念体か
らの結果から見れば春から秋に
かけて増加が鈍つておるが兩者
の境目にあつた四月八月は共に
減少している